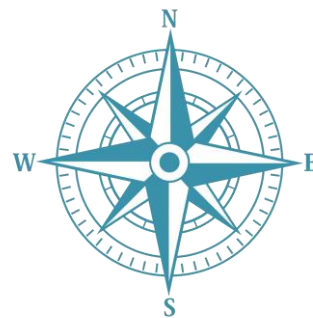




課題提示資料の参考様式

令和6年5月

共創型官民連携促進チーム

【東北経済産業局、関東経済産業局、中部経済産業局、中国経済産業局、四国経済産業局、九州経済産業局、沖縄総合事務局】

01

本資料について

位置付け / 特徴

02

ルールの設定

レイアウト / 記載 / フォント / 色 / 図形

03

資料の構成

構成 / 課題整理シートとの関係

04

参考様式

05

パーツ

Theme 01

本資料について

本資料の位置付け

共創型官民連携促進チーム（※1）では、自治体と企業が単なる受発注の関係を超えて、共に課題を解決するパートナーとしてプロジェクトを共に創る「共創型の官民連携」を促進しています。

共創型の官民連携の第一歩は「困っている」と伝えること。しかも、必要十分な情報をわかりやすく伝えることが重要であると考えています。

本資料は、共創型の官民連携を促進するため、「課題をわかりやすく伝える」ことをテーマに、課題を発信する際の参考様式として作成しました。これまでに、共創型官民連携促進チームで取り組んで参りました「ガバメントピッチ（※2）」や、「よりよい官民連携を考える勉強会（※3）」で得られたノウハウ・知見を盛り込み、実践的な内容にしています。課題の発信にあたり、提示すべき内容の確認や、様式として資料作成の際にご活用ください（※4）。

共創型の官民連携に取り組んでみたいけれど「何を伝えたら良いかわからない」、「資料作成に使う時間を短縮したい」と感じていらっしゃる皆様の一助になれば幸いです。

共創型官民連携促進チーム

※1：東北経済産業局、関東経済産業局、中部経済産業局、中国経済産業局、四国経済産業局、九州経済産業局、沖縄総合事務局

※2：自治体が地域課題を整理し、企業に向けて発表を行い、企業が解決方法を提案することで、マッチングを図る取組。

（自治体との共創でヘルスケア分野の課題解決に取り組む企業を募集します（応募終了）（METI/経済産業省関東経済産業局））

※3：自治体、企業、支援機関が一堂に会し、共創型の官民連携に関する知識習得や相互理解の醸成を図る取組。

（「よりよい官民連携を考える勉強会 よりよい地域をよりよい連携で」参加者を募集します（応募終了）（METI/経済産業省関東経済産業局））

※4：共創型官民連携の取組ノウハウを記した「COMPASS」において記載方法を解説しております。本様式の活用にあたってはそちらをご参照ください。

（共創型官民連携の取組ノウハウをとりまとめたガイドライン及び参考様式を公開しました（METI/経済産業省関東経済産業局））



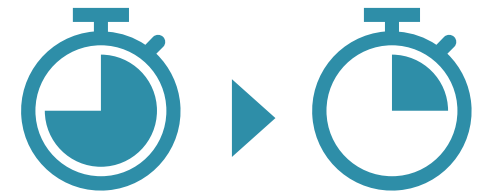
歴史に学ぶ

過去の実績から得られた経験値を結集。マッチング実績多数のノウハウを抽出。



リサイクル/参考書

本様式をリサイクルして資料の作成も可能。構成や記載内容の参考書にするのも可能。



時間の短縮

記載内容の検討、構成の検討に要する時間を短縮し、課題の整理や既存業務に時間を使えます。

Theme 02

ルールの設定

図、グラフ等

まとめのコメント

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

簡潔

- ・ 1 スライド 1 メッセージ
- ・ 具体的に、数字で、一言で

直感的

- ・ 図やイラストで表現
- ・ 文字は18pt以上で
- ・ 色は同系色を 3 つ程度

フォント

和文：游ゴシック Medium
欧文：Segoe UI

色

メイン

サブ

サブ2

アクセント

※同系色の薄い色を必要に応じて使用

ルール4 図形・矢印

図形

四角

と

丸

※枠線なし

矢印



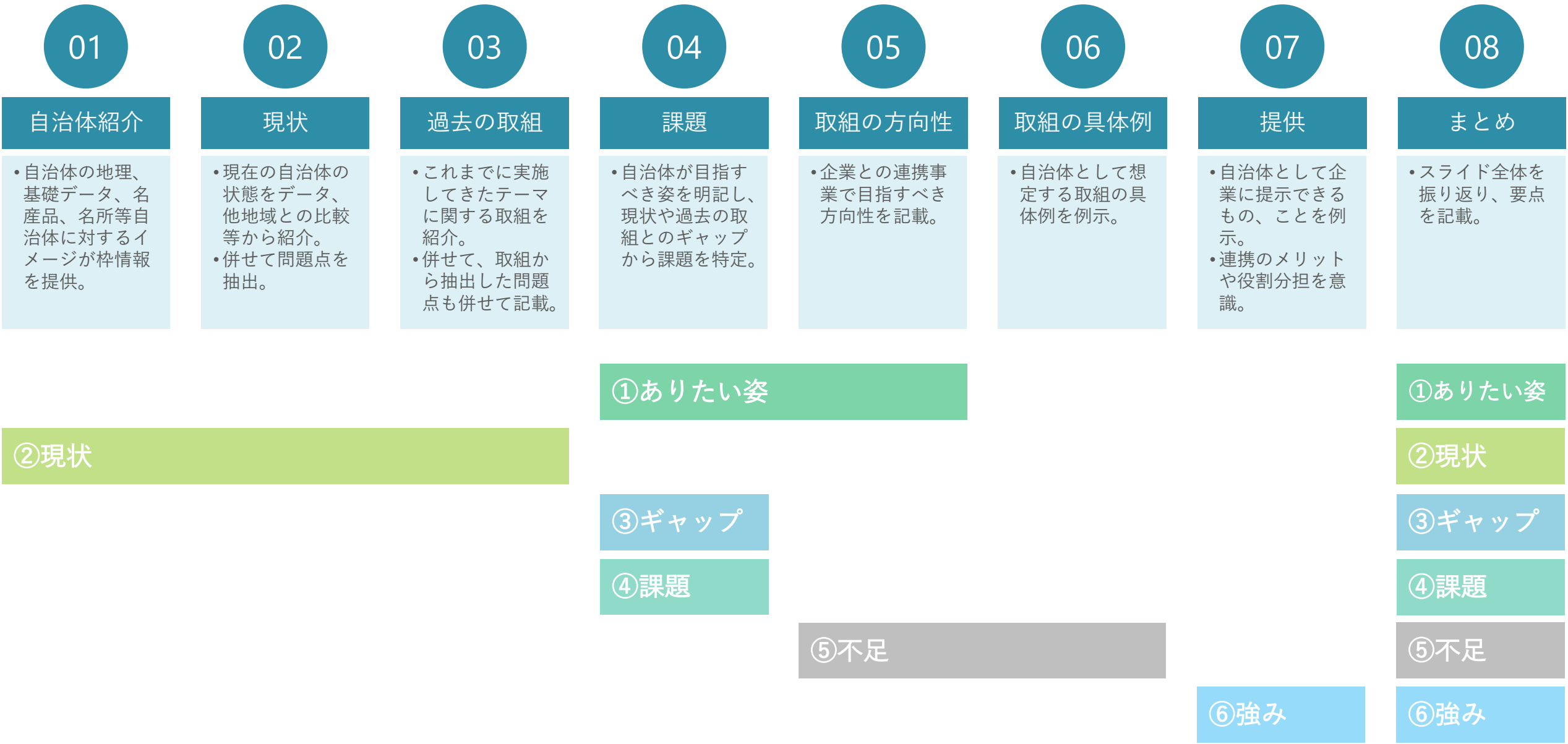
※矢印サイズ 5



Theme 03

資料の構成

構成例・課題整理シートとの関連



Theme 04

参考様式

日本一元気な街への挑戦

運動がつくる明るい未来

令和○年○月

経済市 高齢者支援課

01

経済市について

地理 / 人口 / 産業 / 経済規模 / 特産品 / 名所

02

今、昔、これから

現状 / 取組 / 問題点 / 理想 / 課題

03

一緒にチャレンジしたいこと

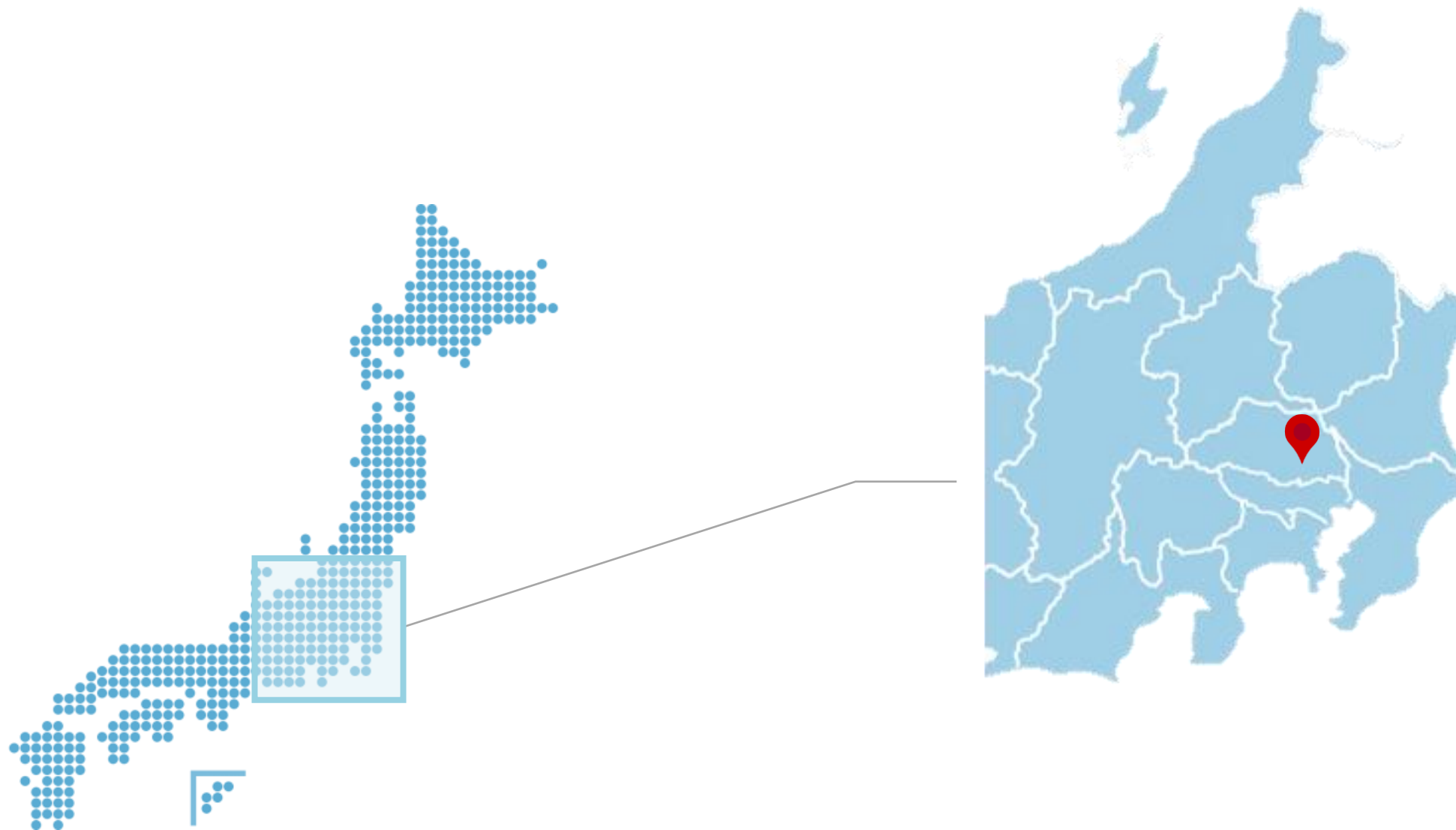
方向性 / 具体例 / ターゲット例 / 共創のメリット

04

まとめ

Theme 01

経済市について

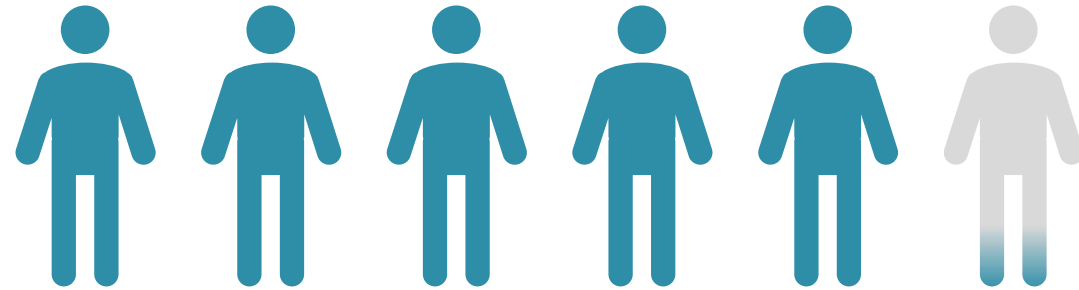


日本のほぼ中心に立地

経済市について - 人口 -

総人口

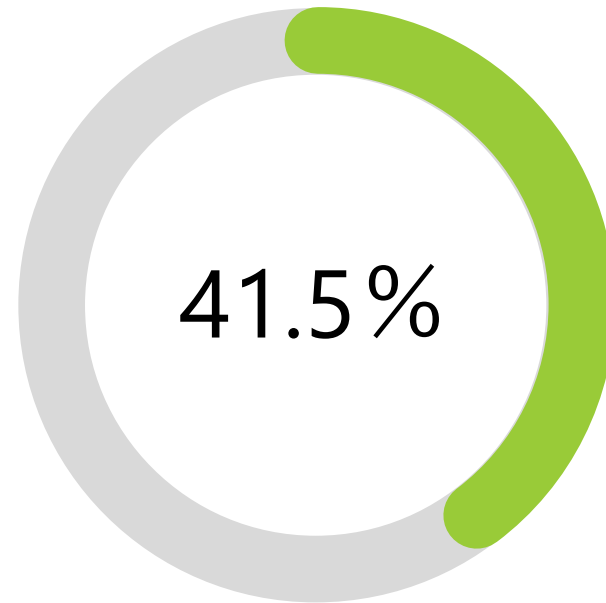
5235万人

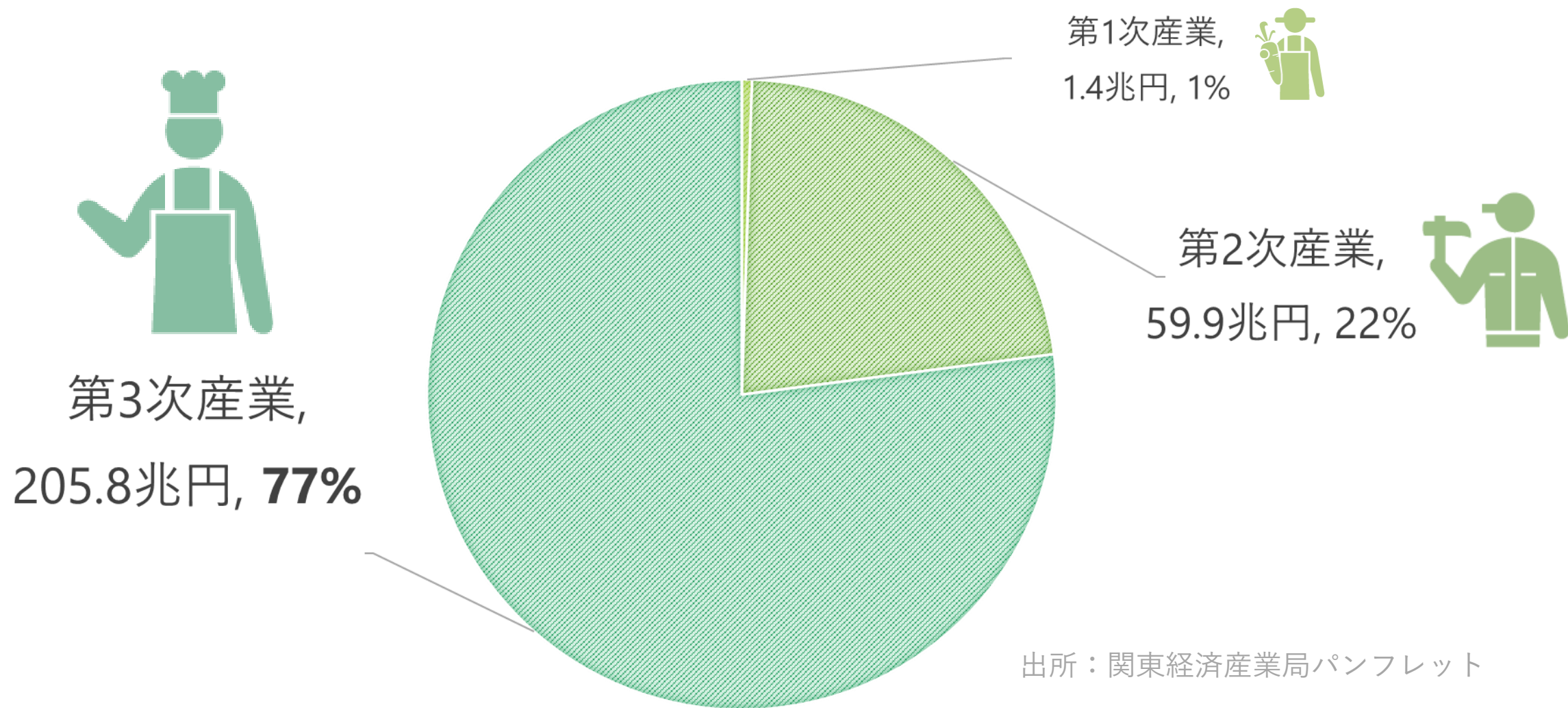


人口割合

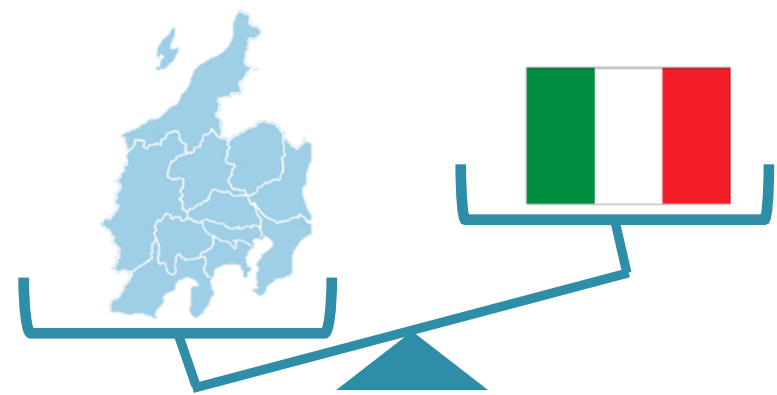
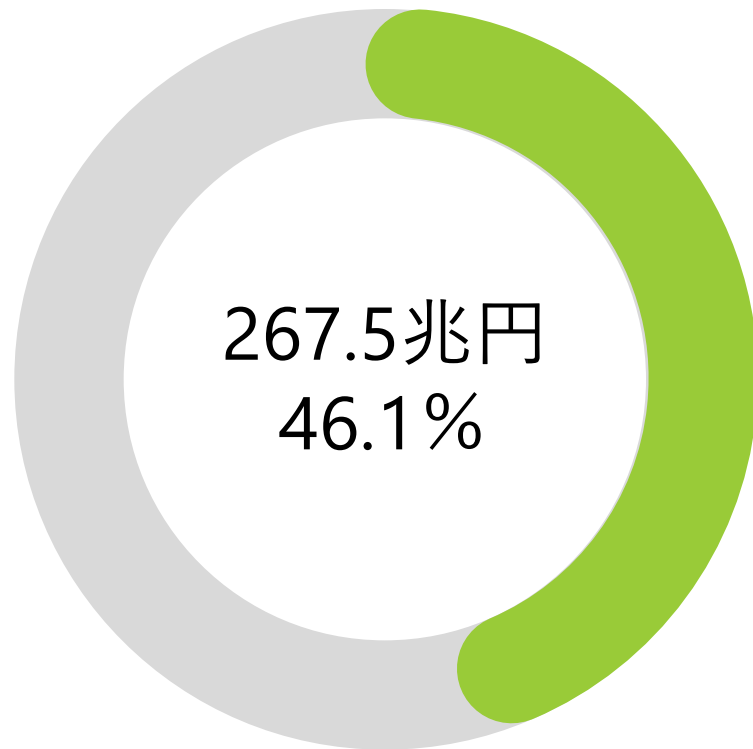
日本の4割超

41.5%





〇〇が主要産業



出所：内閣府「令和元年度県民経済計算」、総務省「世界の統計2022」

注1：管内総生産換算レートは世界の統計より（1ドル=109.01円）

注2：イタリアは暦年

日本の4割超、イタリアを上回る経済規模



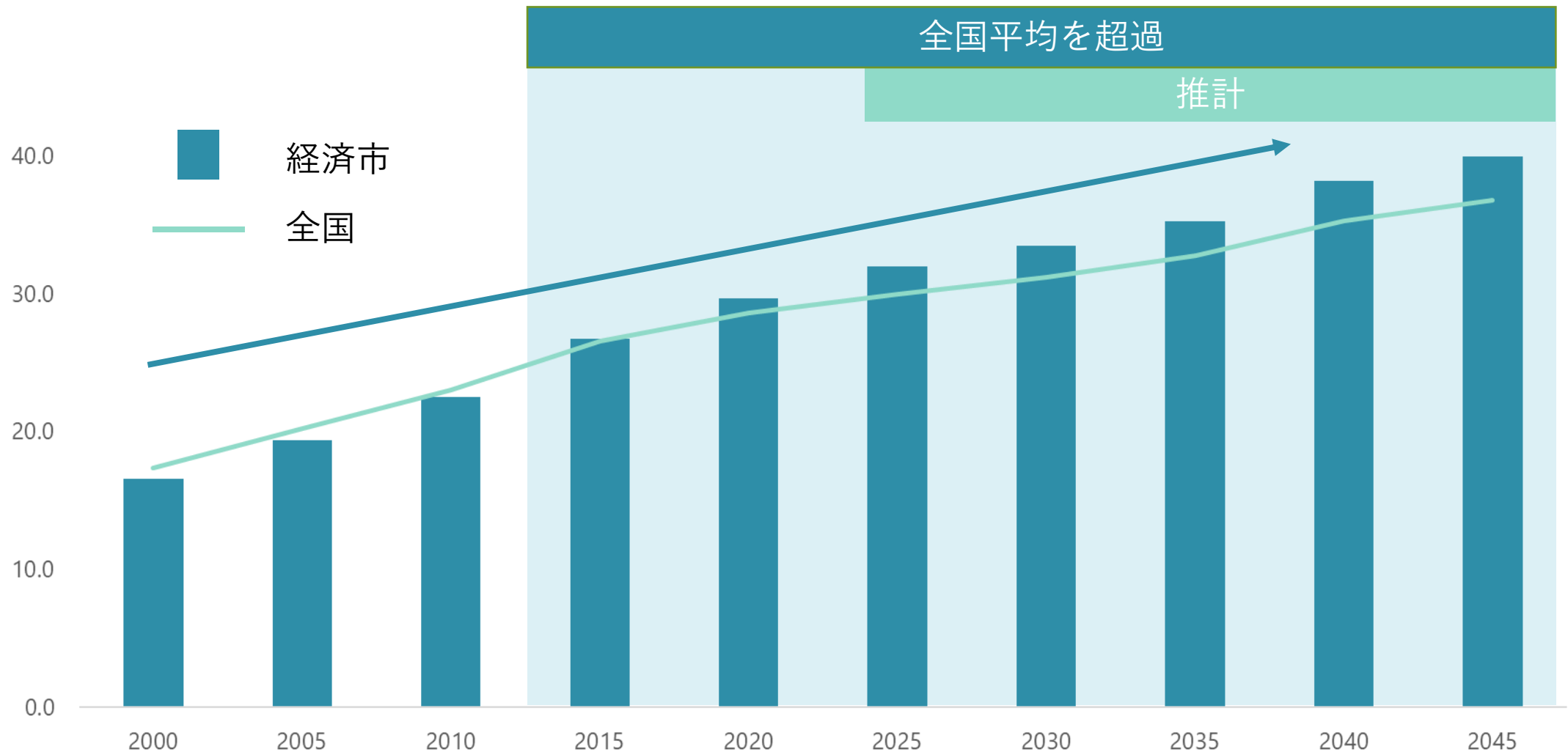
経済市について - 名所 -



Theme 02

今、昔、これから

経済市の現状 - 高齢化率の推移 -

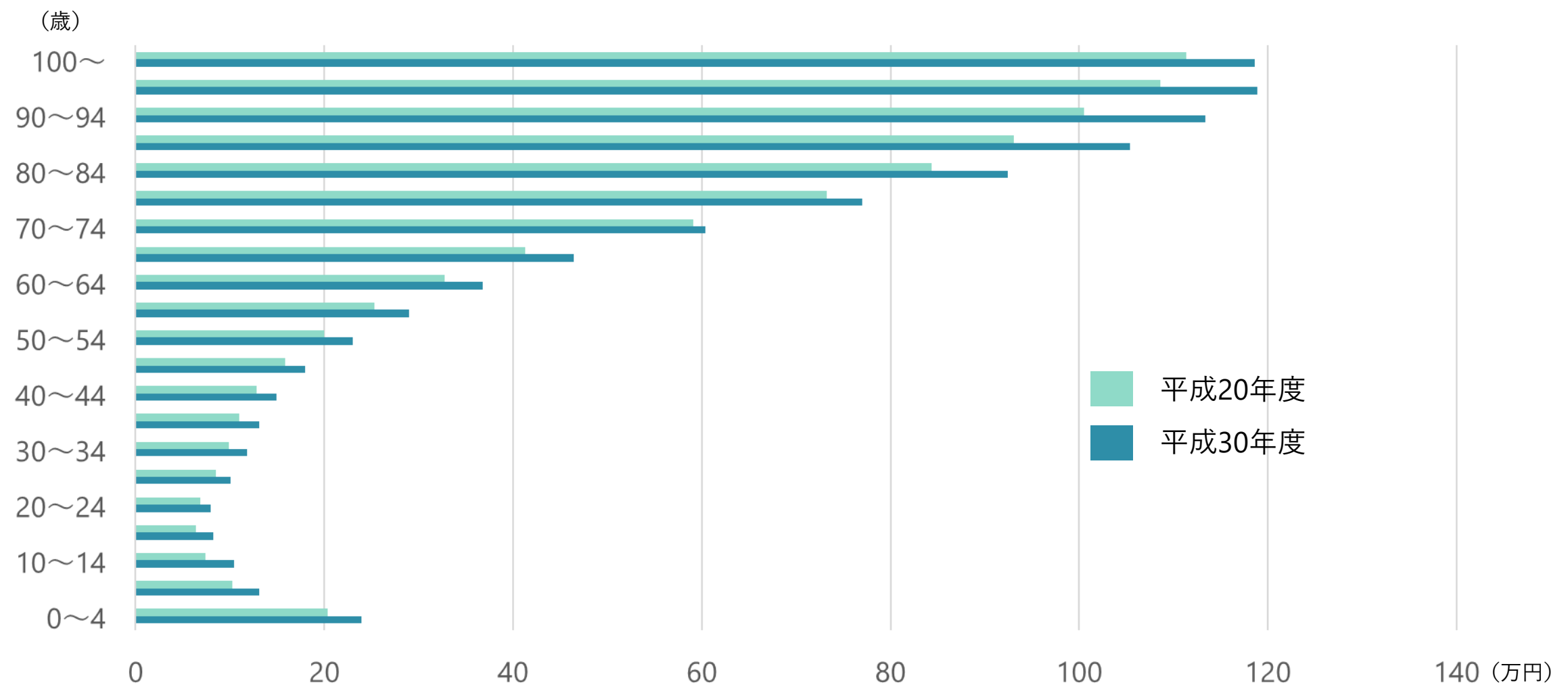


出所：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

高齢化率は右肩上がり

2015年に全国の高齢化率を上回り、以降、差は拡大する見込み

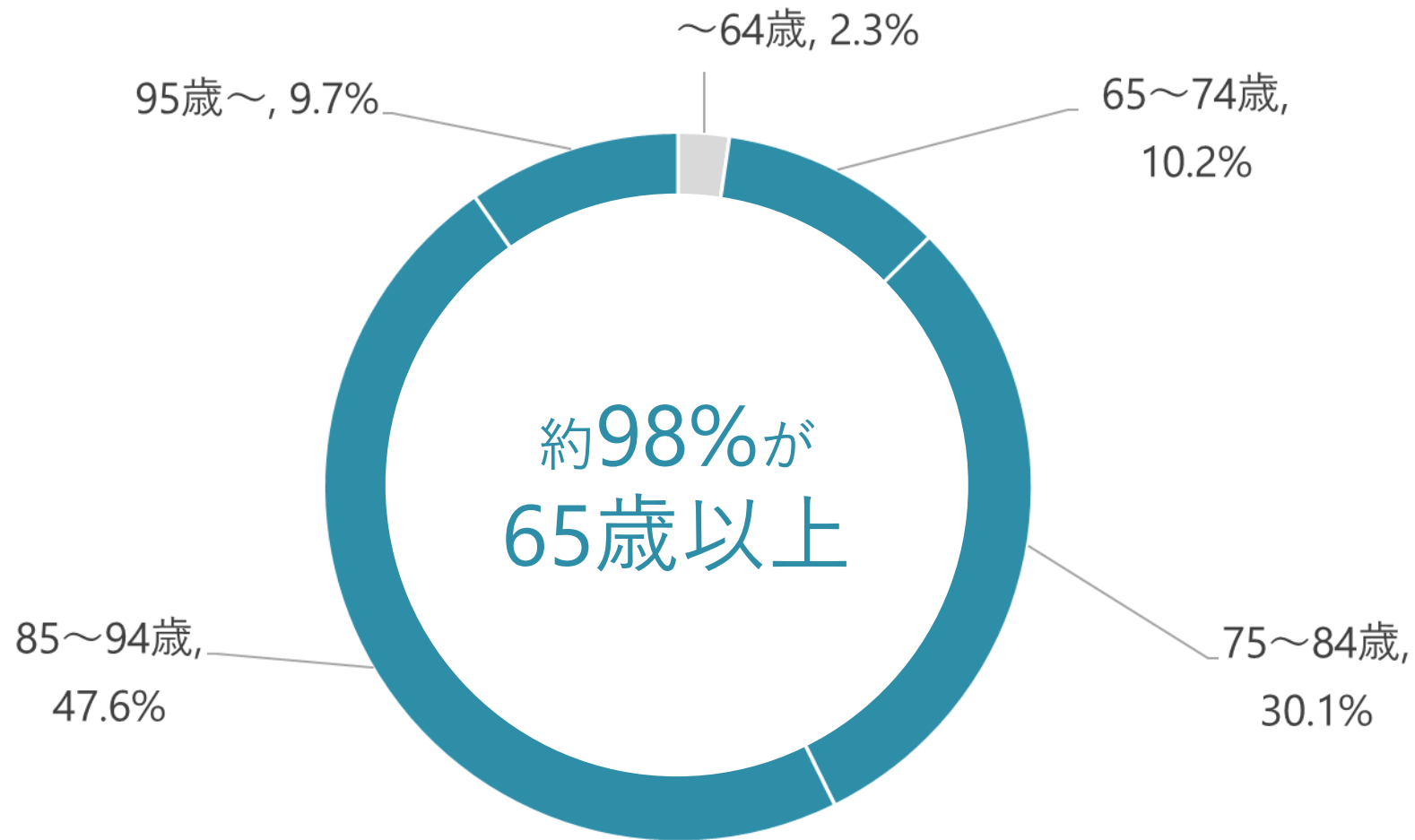
経済市の現状 - 年齢別一人あたり医療費 -



出所：内閣府「令和3年度高齢社会白書」

65歳以降、大幅な増加

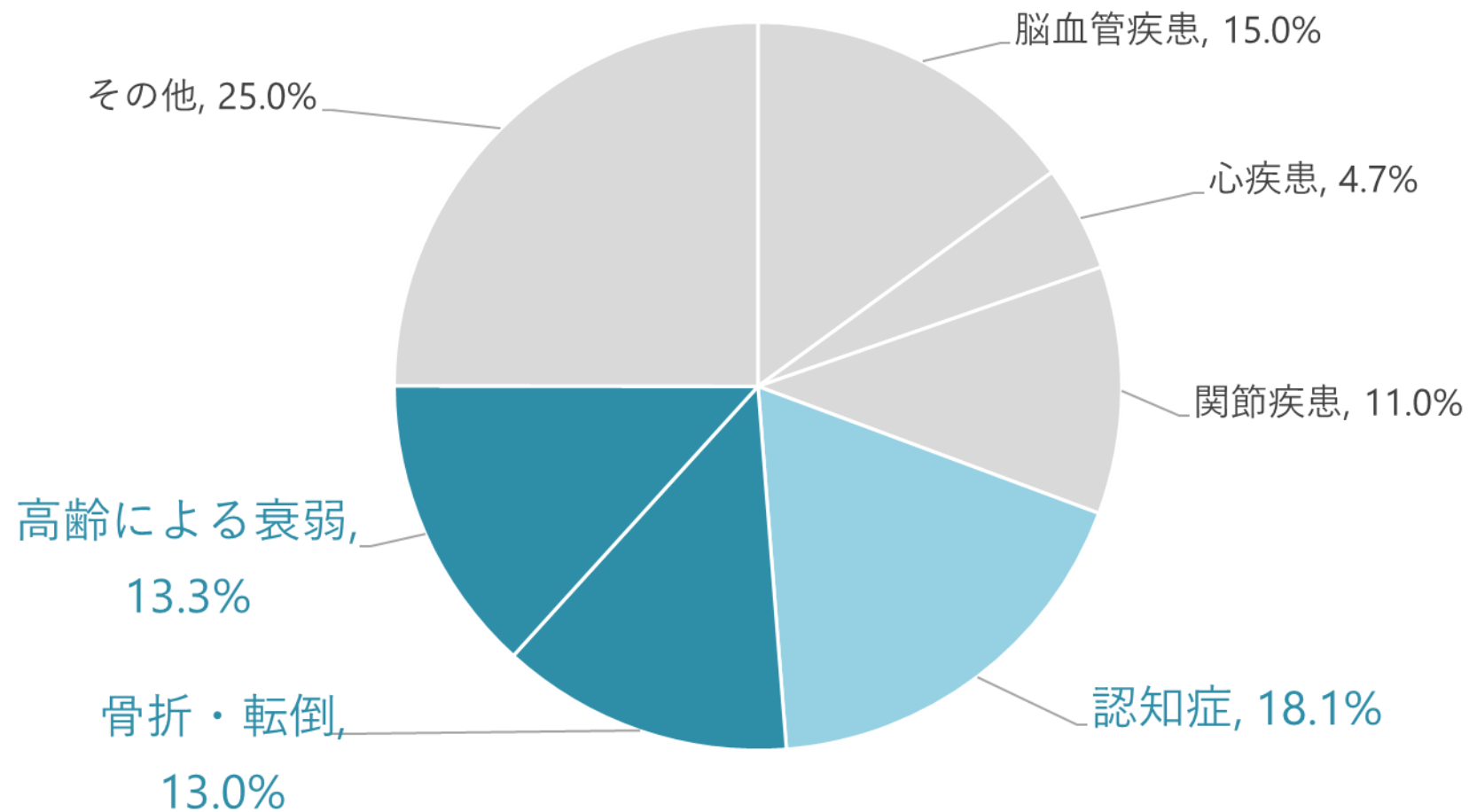
経済市の現状 - 年代別介護給付費受給率 -



出所：厚生労働省「令和3年度介護給付費等実態統計報告（令和3年5月審査分～令和4年4月審査分）」

高齢者の介護対策が重要

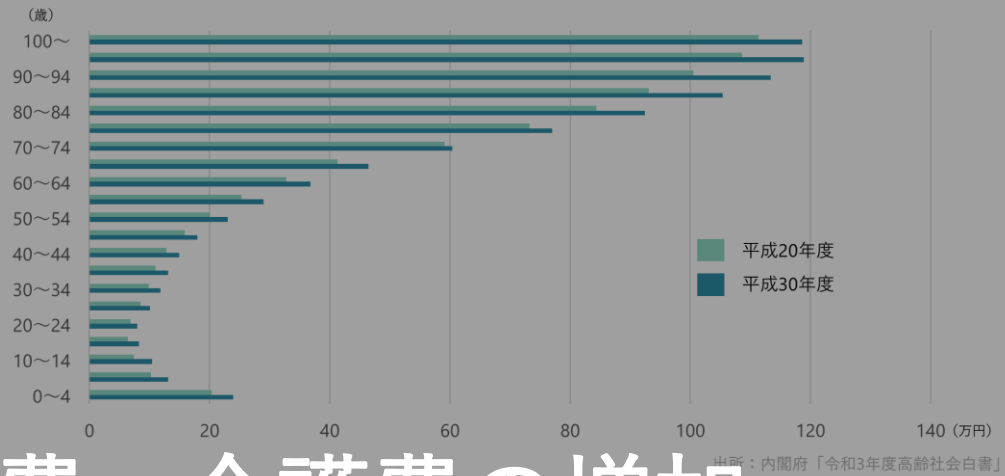
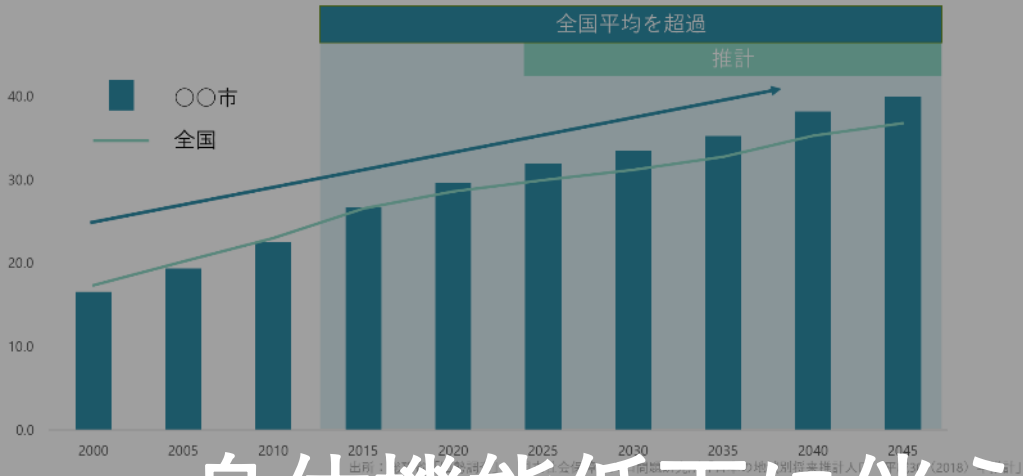
経済市の現状 - 要介護の主な原因 -



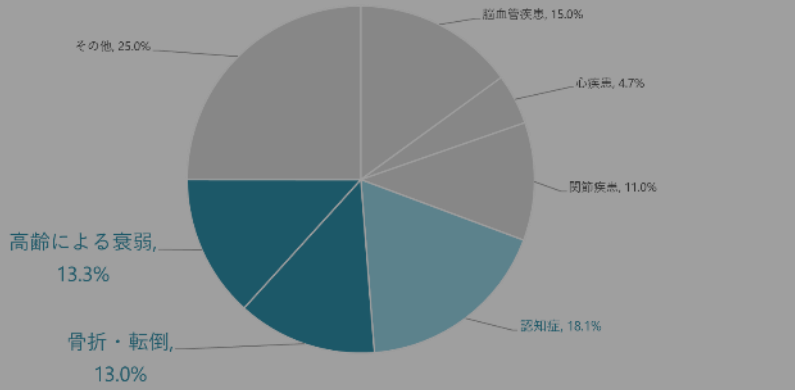
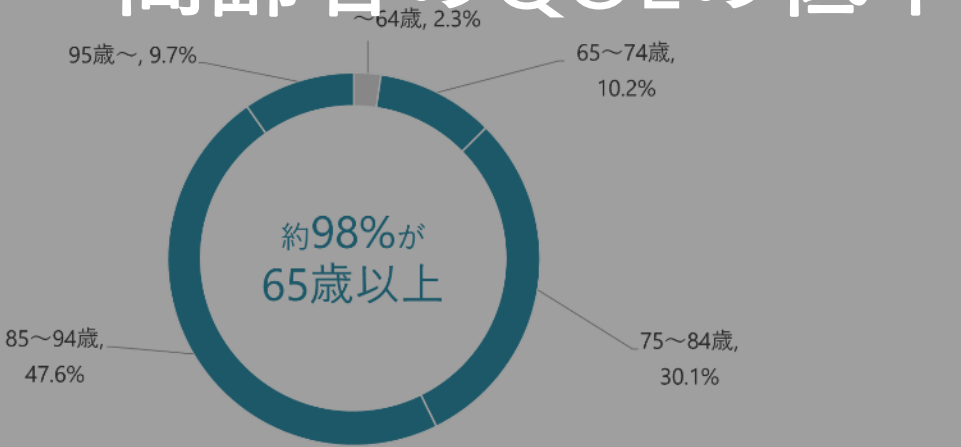
出所：内閣府「令和4年度高齢社会白書」

身体機能の低下が要介護の大きな原因になり得る

経済市の現状 – 問題点 –



身体機能低下に伴う医療費・介護費の増加 高齢者のQOLの低下



出所：令和3年度介護給付費等実態統計報告（令和3年5月審査分～令和4年4月審査分）（厚生労働省）

出所：内閣府「令和4年度高齢社会白書」

通いの場での健康体操



通いの場での測定会



通いの場を中心とした集合形式の健康イベントを実施

通いの場での健康体操



通いの場での測定会



多くをカバーできない
無関心層へのアプローチが困難
その場限りになりがち

通いの場を中心とした集合形式の健康イベントを実施



誰もが、楽しく、いつまでも運動を続けて
元気でいられること

経済市の課題の特定 - 現状とのギャップ -

現状



理想



ギャップ

誰もが

- ✓ 取り組める人数限定的
- ✓ 参加者が固定的

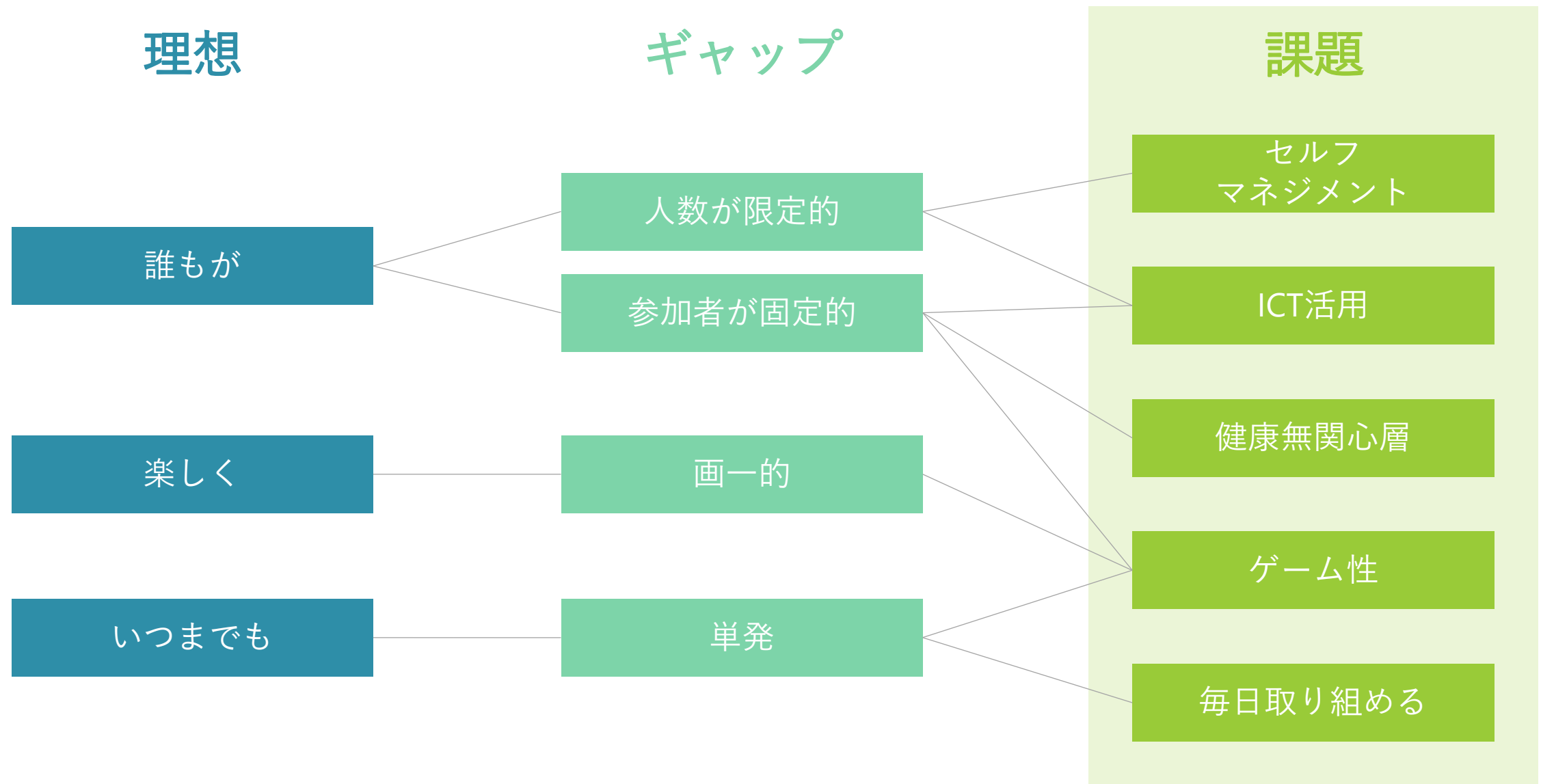
楽しく

- ✓ 画一的

いつまでも

- ✓ 単発のイベント

課題は？



Theme 03

一緒にチャレンジしたいこと



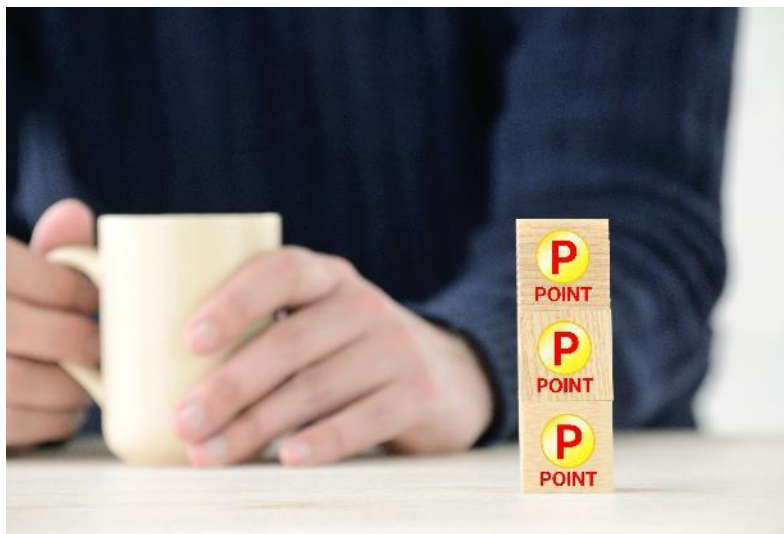
ICTを活用し、事業として継続性があること

経済市の取組の方向性 - 取組の具体例 -

健康管理



ポイント



コミュニケーション



経済市の取組の方向性 - ターゲット例1 -



共創 太郎（68）

- 世帯** 妻と2人暮らし
- 人柄** 仕事人間・内向的
- 趣味** 猫の世話
孫の写真を見ること
- 仕事** 2年前に退職し、現在は無職
- 子ども** 2人
いずれも遠方に暮らし、お盆やお正月
など年に数回会う程度
- 生活** もともと体を動かす仕事をしていたが、
定年後はこれといった趣味もなく、体
を動かす機会はない。
仕事一筋でここまで来たため、人とか
関わる活動の場がなく、家にこもりが
ち。

経済市の取組の方向性 - ターゲット例2 -



連携 花子（70）

- 世帯** 夫、子と3人暮らし
- 人柄** インドア派
- 趣味** 川柳
年に1回のライブ参加
- 仕事** 結婚を機に専業主婦になり今に至る
- 子ども** 3人
内1人と同居。他の2人は近くに暮らし、よく孫をつれて遊びに来る。
- 生活** 予定がなければ外出はしない。予定もあまりないため外出頻度は低い。健康のために歩かなければと思ってはいるものの続かない。
SNSでの交流はあるものの、家族以外との対面交流の機会は少ない。



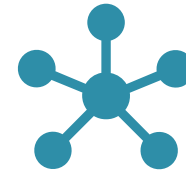
PR

- ✓ 市の事業として広報します。
- ✓ 自治体連携の事例として発信します。



実証フィールド

- ✓ 公共施設をご利用いただけます。
- ✓ 通いの場等、実証フィールド確保に向けて調整します。



ネットワーク

- ✓ 部局横断ネットワーク（商工、教育等）。
- ✓ 市内企業、団体等のネットワーク。



予算化

- ✓ 実証後に効果が見込まれれば、予算化を検討します。

Theme 04

まとめ

■ 実現したいこと

高齢者が誰でも、楽しく、いつまでも運動できるようにすること。

■ 求めること

- ✓ セルフマネジメントの仕組み
- ✓ ICT活用
- ✓ 無関心層を取り込む仕組み
- ✓ ゲーム性
- ✓ 毎日取り組める仕組み

■ 連携のメリット

- ✓ 取組を積極的にPRします！
- ✓ 実証フィールドの確保に向けた調整をします！
- ✓ 保有ネットワークを総動員します！
- ✓ 予算化に向けて取り組みます！

Theme 05

パーツ

スライドの流れや、自治体の状況によっては、記載することで企業等に対して効果的なメッセージを伝えられる可能性があるスライドを参考までに掲載します。必要に応じてご活用ください。



地域機関、関係者との豊富なネットワーク

■ 目標

継続して運動に取り組む高齢者の増加

■ KPI

経過月数ごとの運動継続者の人数

3ヶ月後

10,000人

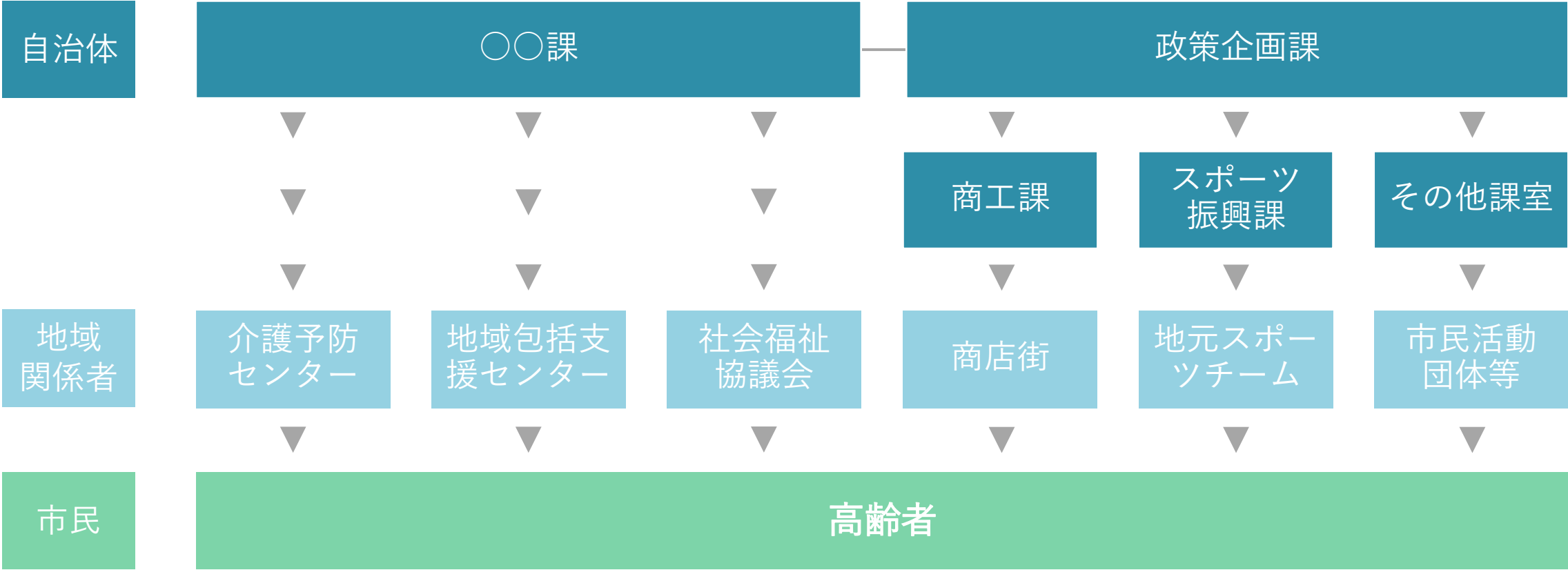
6ヶ月後

8,000人

1年後

6,000人

経済市 体制図



体温の見える化



血圧の見える化



体重の見える化



ベンチャー企業と体の状態を見える化する実証を実施
企業連携を進める土壌有り



共創型の官民連携



モデルを構築



全国に向けて発信



持続可能な社会

経済市と共に社会課題解決モデルを構築しましょう！
皆様の柔軟な提案をお待ちしております！

作成・協力

作成

共創型官民連携促進チーム

【構成】

関東経済産業局	地域経済部	地域経済課ヘルスケア産業室
東北経済産業局	産業部	商業・流通サービス産業課
中部経済産業局	地域経済部	航空宇宙・次世代産業課
中国経済産業局	総務企画部	企画調査課
	地域経済部	製造産業課
四国経済産業局	地域経済部	新事業推進課
九州経済産業局	地域経済部	ヘルスケア・バイオ産業課
沖縄総合事務局	沖縄経済産業部	企画振興課

協力

株式会社官民連携事業研究所

よりよい官民連携を考える勉強会 ご参加者様

